

組子ベッド百報

2013.5-6月号(No. 22)

著作権は、(株)総桐筆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潴郡大木町三八松1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050

このニュースレターは“組子ベッド・販売様向け”に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



今年は1週間ほど早い4月末頃に、当社敷地内にある、桐の花が満開になりました。桜前線ならぬ、桐前線が北陸の方まで北上して行くことでしょう。山間に紫色の花が咲いてましたら、桐の可能性が大了。私が近場で発見したものは、マップ化してネットに公開してます。
(<http://goo.gl/lj0Fz>)

組子ベッド月間受注記録更新



組子ベッド、絶好調で、4月は月間受注記録更新しました。アベノミクス効果？か分かりませんが、販売店様のご努力に感謝致します。在庫が切れないように体勢は整えてますが、正式ご発注前には、メールかお電話で在庫の確認をお願い致します。

大まかな比率ですが、あんばい(焼桐)7に対し、こちちeが3程度でご発注いただいています。やはり元祖が強い傾向にはあります。

睡眠考房まついさんところを訪問



3月の初旬、飛騨高山に桐たんす三点を直送。行きも帰りも、大阪南港発着フェリーで。帰りに、フェリー近くになる、睡眠考房まついさんところに、6年ぶりの表敬訪問。2度目ですが、まついさんがうちに来られたのが3回です。組子ベッドの快進撃は、ここからはじまったと言っても過言でないお店です。日頃は、メールや、Facebookグループ(快眠生活研究会)で、やりとりしているので、たいへん懇意の仲でもあります。

数年前作られた、全国で唯一"組子ベッド"や"布団"が泊まれて体験できる体験ルームを拝見。プラレタニウム装置もあり、ちょっとしたホテル並に豪華。写真で知ってはいましたが、想像以上に素晴らしいお部屋でした。また、このお隣の部屋にはご自慢の健康器具も置いてありました。

前回の6年前の時は、組子ベッドが真ん中で、立ち話しかできないということで、近所の喫茶店へ行きましたが、今回はお店の奥を広げられ、床はフローリング。靴を脱い上がるようになって、商談の机と椅子もあり、お店の中でじっくりとお話することができました。

最後に盛りあがったのが、ネットにはあまり書かれないご趣味のパラグライダーのこと。ツリーラン(不時着)した際のパラグライダーの回収方法には、あっと驚きの爆笑ネタでした(^O^)

1時間半ほどのお邪魔いたしました。あっという間でした。

まついさん、九死に一生



その、まついさん、4月半ばから骨折で入院中です。私の出先に、「まついさんの携帯に電話をして下さい」と事務所から連絡がありました。普段はメールなので、急ぎの用かな？と電話しました。「夢楽は組立ては簡単でしょうか？」でした。納めは4月末。でも、まついさんところで"夢楽"は初めての販売となるので、ご心配だったようでした。

ひとしきりその話が終わって、次にでた言葉が「落ちたんです」「落ちた？」「パラで落ちたんです」と言われビックリ。お声はいつもと同じでしたので「お大事に」といいましたが、後で知ったら、なんと、足の裏、尾てい骨骨折、背骨12番と11番が粉碎骨折。絶対安静で3週間。ほどよく回復しなければ手術という重傷。

私はカイトで飛ばされ骨折した経験があります。胸骨の骨折、肩の先端は粉碎骨折、左手首骨折でしたから十分に症状が理解できますが、それより、ずっとずっと重傷。

どうやら、私に電話されたのは病院の診察室で待っている間に、納品が気になり私に連絡されたもようでした。大阪商人はとかくがめつい、油断も隙もない(一般的にそう言われてます)、といわれますが、商売はまず、お客様に手間を取らせない、お客様第一。重傷ながらも、それを思われたことに、商売人根性をみた気がします。

でも、転んでもタダで起きないのが、これもまた大阪商人。まついさんところのキャッチフレーズは「寝たら治る」。ブログには入院体験と睡眠のことを合わせて、まさしく「寝たら治る」を実戦で、毎日投稿してあります。私が、まついさんのブログに初めてであった時のようにとっても快調。一日も早い回復をお祈りするばかりです。まついさんのブログ→<http://futon.livedoor.biz/>

福岡のイケヤを見学



とある土曜日、北九州に11時着、福岡に17時着で配達。中途半端に時間があまったので、昨年4月にオープンしたIKEAに初めて行ってきました。

当然ですが、ここには桐たんすはありません。自分で組立てる家具が原則。ちょうどお昼でしたので、まずは腹ごしらえです。料理は豊富で、ステーキは柔らかくておいしかった。



店内では、まずは日本仕様の3畳、4畳、6畳の室内レイアウトでの展示。ここでイメージを膨らませて～です。私はキッチンに目が行きましたが、これは、ちょっといいね～と思うものは、80万～90万円はざらでしたが、どれもそれほどの違和感はありませんでした。

私は、箱物家具なら分かりますが、カラーボックスのようなものが結構お高い値段付けてました。値段相応で組立て式は、どれもたいへんだと思いました。



広い店内は、ジグザグジグザクの一方通行。でも、ところどころでショートカットできるドアがあり、品物を決めているなら、早くたどり付ける工夫もしてありました。

店内照明はほんとはよく考えてあり、また、目線の範囲のどこでも、赤い色が壁であったり商品であったりとアクセントに用いられていて、高揚感を高める工夫かと思います。

ベッドや寝具もかなりなスペースを取って展示あり、私のブログには、たくさんの写真を撮影してきましたのでご参照(4/23)。販売店の皆様にあっては、イケヤも知っておく必要はあるかと思えます。その上で戦略戦術をお立て下さい。「敵を知り己を知れば百戦危うからず」です。

アイケイケイ様、2013年板橋区リーディング企業



板橋区では平成19年（2007年）より、3年に1度、地域ブランドの一層の周知を図るために、区内の優れた製造業をリストアップした名鑑「板橋リーディング企業ガイド」を作成しているそうです。当社の組子ベッド・杉黒芯ベッドの材料支給元であり、また、そのベッドの販売店でもある、アイ・ケイ・ケイ様が、同区のリーディング企業として紹介されました。

アイ・ケイ・ケイ様の強みは、特許である木材乾燥機「愛工房」。また、伊藤社長の杉に対する情熱の深さにあると思います。年内(予定)には、都内でも珍しい木造4階立てを坂下に建てるそうです。72歳にしてローン組めたそうで、まだまだ意気盛んです。



春の木工まつり

4月13日(土)、14日(日)は、春の木工まつりでした。恒例になりましたが、毎回約2万人以上の来場者がある展示即売会です。秋の木工まつりは10月。さらに大規模なまつりです。当社はどちらにも出品しています



新規の販売店様です

2年程前、当社の工場見学された、大阪市東住吉区の布団屋のおかもと様が、組子ベッド販売店に参加されました。大阪地区のテレビでは、ラブラブぶりが紹介され、とっても仲良しのご夫婦が特長(^^)

屋久杉の美秋工芸様が組子ベッド販売店に参加。宮崎県は綾町で、屋久杉で飾棚、テーブル、衝立、彫刻、一品作などの製造販売されてます。杉ではなく、“あんばい(焼桐)”を展示されました。



組子ベッド販売店支援サイト

組子ベッド販売店支援サイトには動画も掲載しています。この「組子ベッド百報」の過去の配布資料だけでなく、各地のTV局であった販売店様が出演の番組紹介、また、快眠や睡眠に関するTV番組など随時掲載しています。

最近の掲載動画

- ・まついさんのTV放送 あの体験ルームが登場します
- ・岡本ふとん店さまのTV放送 ご夫婦で仲良しで登場

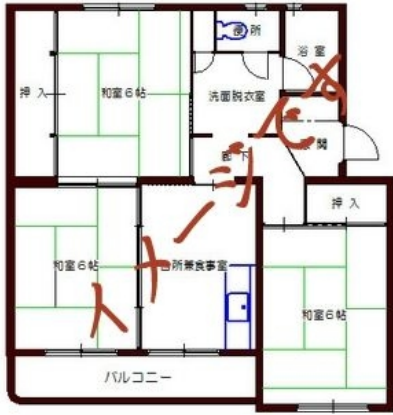
<http://kumikobed.com/d/> →販売店支援ページ(限定)
入室パス:iibed

DNA

我が社の遺伝子情報であり、会社史であり、備忘録であり、自分史であり、ドキュメンタリーでもあります



家の設計図を描く



連休期間中に、亡母の23回忌の法要を行いました。

おふくろは、会社では社長。大川市では女傑と言われた方もあるくらいで気丈夫な人でした。親父は会長。いまの会社は、おふくろが創った会社となるのです。でも、戦略的なこと、社員の技術指導は親父で、おふくろは第一線の営業マン。いまでこそ、展示会のブースに立つ女性の方が多いのですが、その昔は、展示会に立つのはおふくろくらいで、目立ってもいたようです。

でも、商売というものは、うまくい場合と、何をやってもうまくいかないお先真っ暗な場合があります。そのお先真っ暗な時に描いていたのが、住まいの設計図。いろいろ描いてましたね～。私が夢また夢でムダ、と言ったことがあります。これを描いていると、「いまは苦しくてもいつかはきっと」、と頑張るぞ～って勇気が湧いてくると言っていました。

いまの社屋は、おふくろが描いたものとは違いましたが、それ以上のものができあがっていたのでした。未来は必ず明るい。それを教えてくれたと思います。



一年ぶりに、孫達と吹き流し

左上の写真は、直径5m程ある、係留して楽しむボンボン付きのパラシュート型の吹き流し。左下は長さ2mほどのもの。斬新なデザインと色ですが、アメリカ製です。

法事が終わって、孫達7人連れて、大川へ。野球とサッカーで満タンしてましたが、一番奥の芝が幸いに空いてて、そこでヒラヒラさせてきました。



風が止まったり、向きが変わったりで、吹き流しがしぼんだりしましたが、なんとか楽しめました。よそのおかあさん方も子供にせがまれて、近寄っては記念撮影されて行かれてました。

子供は外が一番ヨカ(^)



組子ベッド紹介コミック冊子II

組子ベッドを紹介するコミック本2作目が完成。今回は新進気鋭のプロ作家にお願いしましたが、今回は、自社制作というか、うちの工場長(四男)がコミックソフトで作りました。幾度の私のダメ出しにもめげず完成。

一冊同封致しましたが、部数が必要でしたらお申し出下さい